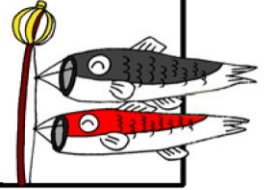




古都っ子だより

令和6年5月2日
岡山市立古都小学校

《心豊かにたくましく生きる児童の育成》 元気な子 やさしい子 考える子



学級のめあて

学校では新学期になると、それぞれの学級で1年を通じてがんばりたいことを「学級のめあて」として決めることがよくあります。先生が大切だと思っていることを子どもたちに示したり、子どもたち自身が話し合っ決めてたりと、学級のめあての作り方はさまざまです。しかし、「特に心がけてがんばっていくもの」という点に変わりはなく、教室に掲示したり、何かの活動毎に振り返る視点にしたりといった取組をすることが多いです。「今年はどんなめあてを作ったのかな？」と教室を回り、担任の先生や子どもたちと話をしてみました。

なかよしC組「なかよくえがお」

- 友達や周りの人となかよくし、笑顔いっぱいでも過ごそうと思って決めたそうです。

2年A組「歩」

- 2年生は学年開きで「歩」のお話を先生から聞きました。毎日の学習や生活にコツコツと取り組むことができるように、がんばっていききたいそうです。

2年B組「歩」

- みんなが仲よく安全に生活し前に進んでいきたい気持ちを込めたそうです。

3年「スマイル」

- スマイルいっぱいの教室、みんな笑顔で生活し、うれしい気持ちになる教室をめざすそうです。

4年「step!」

- 可能性に一步踏み出し、自分で考えいつでも真剣に。そんな思いを表現したそうです。

5年「団結」

- 「全力」「協力」「黙って行動」。高学年らしい楽しいクラスにしたいそうです。

6年「努力夢現」

- 6年生全員で話し合っ決めてました。なにごとにも努力と協力で、夢の実現をめざすそうです。



どの学級のめあても、前向きにけんめいにやろうという気持ちが込められたものばかりです。



↑ 2年生はみんなの手形付き



↑ 5年生、オリジナルのうさぎデザイン

「どうしてこんなめあてになったの?」「このめあてで、みんなは何をしようと思うの?」と子どもたちに質問すると、どの学級でも「安心」「努力」「協力」など学校生活を支えるキーワードが返ってきます。先生や古都っ子たちがふだんからそのことを意識し、大切だと思っている様子がよく伝わってきました。こ

こで紹介することができなかった1年生、なかよしA、B組の子どもたちには改めてインタビューして、どんな思いで取り組もうとしているかを聞いてみたいと思います。

気が付けば新緑が鮮やかな5月、子どもたちは新しい学年の生活になじんできています。1年生の子どもたちも上級生に連れられて元気に学校に通っています。ゴールデンウィークで一休みしたら、古都小学校の創立150周年記念運動会が控えています。保護者の皆様におかれましては、お子様の健康管理にご留意いただき、元気に学校に送り出していただければ幸いです。(校長 石井 聡)

裏面に続く